

地域ケア会議ケース検討会  
アセスメントシート

独	高	他
---	---	---

氏名	Yさん	男・女	男 <input checked="" type="checkbox"/> 女	住所	
要介護度	介護1	有効期限		検討テーマ	ケアプランの見直し
健康状態	統合失調症(30代から) 認知症状(確定診断なし) 高血圧(以前は服薬していたが、今はできていない)				
個人因子	ADL 自立も、転倒を繰り返す。(筋力低下に起因) IADL 全般に指示、声かけを要す。(精神疾患に起因)				
環境因子	家族環境 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 長女: 近市に在住。仕事が忙しい</li> <li>● 長女の子(孫): 週1回程度訪問し様子をうかがう</li> <li>● 長男: 5年前死亡</li> <li>● 夫: 2年前死亡。</li> </ul> 住環境 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公団(持ち家) エレベーターなし 3階</li> <li>● 近隣住民に買い物をお願いしたり、食事に連れて行ってほしいと頼む</li> </ul>				
経済的環境	本人: 厚生年金と遺族年金 月20万 【預貯金あり、経済的な問題点はない】				
現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2年前、夫が死亡したことをきっかけに介護申請。近市に住む娘がキーパーソンとなり、A 事業所 B ケアマネと契約。</li> <li>● 訪問介護により、家事援助を利用していた。</li> <li>● 定期的に娘が訪問し通院介助、服薬は自己管理していたが若年時からの統合失調症の悪化と高齢に伴う認知症状と思われる短期記憶障害の悪化の為一人暮らしの不安が増強。服薬管理ができなくなった。</li> <li>● 娘に対する妄想(お金を隠してしまう、財産を使い込む)などが進行。</li> <li>● 主治医に対する不信感(無理やり入院させようとする 等)があり 通院、服薬ができてない</li> </ul> ※今のところヘルパーとケアマネに対する受け入れは良い ※本人の現在の主訴はお金を娘から取り戻してほしいということ。				
問題点 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 服薬ができていない。</li> <li>● 眠れない</li> <li>● 通院・服薬ができていない</li> <li>● 娘に対する被害妄想</li> <li>● 金銭管理を誰がどうするか</li> <li>● 本人の今後の支援方針(在宅が可能かを含む)をどうするのか</li> </ul>				

<p>介入チーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 地域包括支援センター 担当職員</li> <li>➤ ケアマネジャー</li> <li>➤ 市障害福祉課 精神障害担当 SW</li> <li>➤ ヘルパー事業所</li> <li>➤ 訪問看護事業所</li> <li>➤ 精神科医院 医師 MSW</li> <li>➤ 権利擁護センター</li> <li>➤ 民生委員</li> <li>➤ 家族</li> </ul>
<p>支援計画</p> <p>短期 1～3ヶ月 中期 3～6ヶ月 長期 6ヶ月～1年</p>	<p><b>(短期目標・支援内容)</b></p> <p>①本人の病状について、認知症の確定診断を含め再度診断を受ける。 ⇒元の主治医に事情を説明し、紹介状をもらい別の精神科へ受診させる。 (担当 地域包括・ケアマネ)</p> <p>②当面の服薬確認は、ヘルパーと訪問看護により行い、薬は訪問看護が預かりセッティングをする。ヘルパーは残薬確認をする。</p> <p>③症状安定するまで、娘には手続き等は協力願うが本人に対する支援は主としてケアマネと包括で支援する。</p> <p>④金銭については、日常生活自立支援事業を活用することとし、手続きを進める。</p> <p><b>(中長期目標)</b></p> <p>⑤上記実施し、診断が出ると思われる1ヶ月後を目途に再度カンファレンスを実施し、中長期的な支援計画を再度検討。</p> <p>⑥上記モニタリングの際に、在宅継続支援可能か、短期的に入院加療が必要か、施設入所の必要性があるかという居所の視点も含める。</p> <p>以上について、この1カ月で見極めをしていく。</p>

日付 H 年 月 日 記入者 \_\_\_\_\_